

# 神奈川県の学童保育

## 迫る！第53回全国研 in 神奈川

### あと一回り参加者の輪を広げましょう

いよいよ「第53回全国研 in 神奈川」当日が迫ってきました。役割分担に基づき、準備も最後の詰めの段階にはいっています。地域連絡協議会のみなさんの協力のお蔭で、実行委員会を形成し取り組んできた努力がもうすぐ実を結ぼうとしています。本当にありがとうございます。

前回の神奈川県での開催から13年、神奈川県内の学童保育は大きく前進してきました。そのひとつの契機となっているのが全国研開催の取り組みをとおして連絡協議会の組織を大きくし、県内の学童保育の充実にむけ育んできたことによります。

県議会に「学童保育を支援する議員連盟」が結成され、先日も私たちと学習交流会を開催しました。また、県の所管である次世代育成課と良い関係を紡いできました。県の学童保育予算は国基準で満額が用意されるようになり、多くの指導員の尽力により、認定資格研修や資質向上研修について県に協力し質の向上が図られています。

しかし、今回の全国研の本当の成功はこれからにかかっています。県内地元から圧倒的に多くの指導員、保護者はじめ学童保育の仲間が集うことです。すでに全体では3,000人を超える事前申し込みが来ていますが、県内の数字はまだ2,000にも届いていません。今までにない意欲的な取り組みで、過去最高の参加者を組織している地域連協もあります。もう一回り、周りに呼びかけ、久しぶりに神奈川で開かれる全国研を大いに活用し、楽しんで頂きたいと思えます。

やってよかった、参加して良かったという研究集会になるよう、みんなでもうひと頑張りいたしましょう。

## 第53回全国学童保育研究集会 in 神奈川第二回実行委員会総会を終えて

全国研実行委員会事務局長 上崎 輝夫

9月9日横浜・西公会堂の会議室に於いて、実行委員会総会が開催されました。

全国研 in 神奈川開催まで残すところ2週間余となりました。本当に時間の流れは速いものです。「年齢を重ねると時間の経過が速く感じる」とはよく聞かれることですが、この全国研の準備に入ってからには特に早く感じています。思い起こせば、この実行委員会を立ち上げてから1年数か月。実行委員会も数人から始まり、拡大実行委員会や第一回の実行委員会総会には「何だかわからないけど、とりあえず行けと言われたので…」といったテンションでの参加者が圧倒的でした。しかしそこから半歩ずつ準備を重ねて1年余、全国研の内容が次第に明確になるにつれて飛躍的に熱を帯び、この日は会場に座り切れない13地域から132名の参加者で会場は溢れました。

総会では、全国学童保育連絡協議会の佐藤愛子事務局次長から「全国研が神奈川で開催される意義」について約20分のお話がありました。自分の子育ての経験を交えながらの話に参加者は傾きながら聞き入り、「全国研の大切さ」について学びました。全国研を成功させることが、神奈川の学童保育の充実と発展につながることを知る大切な場になりました。

この後、役割分担ごとに分かれて当日の役割についての確認や意見交換などが行われ、参加者は真剣な目で話し合いに加わり、積極的に発言をする姿があちこちで目に入りました。

5,000名を目標に取り組んできた今回の全国研ですが、13年ぶりの神奈川開催ですから前回を知る保護者・指導員も少なく、初めての経験の方たちが圧倒的に多いので、当初は「どうなることか」と心配をしていましたが、そんなことは杞憂に終わりそうです。

神奈川全県から集まってきた実行委員や要員の方々のこの熱い思いによって、必ずや成功に結び付く、と実感した実行委員会総会でした。

## 私のおすすめ『日本の学童ほいく』

毎月の運営委員会で、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。

8月は2018年8月号から。横浜市の堀さんかのおすすめです。

「旅してみよう鉄道の世界⑧」「空気とたたかう新幹線」(P.52)から。

時速300kmで走るには、空気抵抗を減らす技術が必要とのこと。空気は、無いと生きていけない必要なものだが、時には障害ともなる。身近に置き換えると、(自分にとって)障害と感じる他人も自分を高みにあげてくれる機会を作ってくれるのかもしれないと感じました。

また、P.38の「どうしてどうして?」(子どもの質問コーナー)で、「おうむはどうしてしゃべるのでしょうか。」という質問で、「愛されているおうむは良くしゃべる」との回答に、共感するのはコミュニケーションの第一歩。(横浜市連協の取り組み)「未加盟再加入PJ」でも、相手を理解し一緒にやっていく視点を大切にしていきたいと思いました。」

と、おすすめをいただきました。

また、9月は2018年9月号講座「あそびが育む者へのまなざしを」より。相模原市の渡邊さんからおすめをいただきました。

P.50「回復する力を育む」から、「心が折れた時など、戻る力も遊びの中で育まれる」と書かれている。結果としてのものかもしれないが、大切なことだと感じたので、おすすめしたい。とのこと。

お二人ともステキなおススメをありがとうございました。皆さんもぜひ再読してみてください。

### 2018年9月号～10月号に掲載されている神奈川からの投稿

<2018年9月号> 特集「子どもをまんなかに一保護者と指導員の伝えあい」

☆ 特集「親子の思いに寄りそい、共に子育てしていくことを願って」

三浦市放課後児童クラブひまわり・指導員 伊集喜代子さん

★ 子どものひろば 横須賀市学童クラブゴジラのしっぽ けいらさん(5年生)

逗子市波の子学童クラブ まりあちゃん(1年生)

☆ 実践ノート「シンと関わるなかで②」 横須賀市栗田・ハイランド学童クラブ 清水美幸さん

<2018年10月号> 特集「学童保育の運営—現状と課題」

☆ グラビア 横須賀市「浦郷学童クラブ」

★ 子どものひろば 横浜市岸谷つくし学童クラブ おとねちゃん(1年生)

横須賀市学童クラブゴジらんど 優菜さん(4年生)

横浜市太尾学童保育クラブ かんたくん(1年生)

☆ 読者のひろば 横須賀市・指導員 飛鳥井祐貴さん

<第53回全国学童保育研究集会>

9月号では、神奈川県をご紹介「全国研はもちろん、神奈川の魅力もご堪能ください!!」

10月号は殿村実行委員長から、「今日のつながりを明日の力に!神奈川でお待ちしています!」

### 物品販売 天然の味【元祖笹川流れ】の 昆布塩

ご飯の美味しい季節がやってきました!

日本海の清海水に北海道産昆布を入れ、特許製法で沸騰させない釜で仕上げた塩です。炊き込んでおにぎり、おにぎりのお供に浅漬は格別です。

他で買うより半額以下の値段です。

販売価格…350円/個(200g入り)

3個で1,000円

### 【編集後記】

全国研まで後2週間余。実行委員の方は担当の準備ご苦労様です。既に4000名を超える申し込みがあり、定員枠を超える分科会もあるとか。私たちの回りでまだ申し込みが済んでいない方へ声掛けを

是非とも神奈川で3000名をめざしましょう。

第53回全国研 in 神奈川（2018年秋）開催に向けて…

今日のつながりを明日の力に！そしてこの10月は神奈川で♥



～ 各役割担当より ～

※ 受付担当、歓迎行事担当、速報担当、道案内担当、教室係担当、会場係担当、救護担当、弁当配布担当、交流会担当、保育担当、参加証（お土産）づくり他、各担当に分かれて準備を進めています。その中から抜粋をして進捗状況や抱負などをお伝えします。

### 受付担当

現在、続々と申込が届いています。  
9月25日までに申し込まれた方へは、10月に入り順次受講票をお送りしています。  
10月12日までに申し込まれた方の受講票はお手紙に発送しますが、13日以降届いた分は当日渡しになります。「よろず相談窓口」にお越してください。当日受付もありますので、「この人も誘ってみようかな!!」と頭に浮かぶ方にもう一声お声掛けくださいね。

スムーズな受付を目指し、頑張ります!!

### 保育担当

1日目は、横浜文化体育館わきにある平沼記念レストハウス、2日目は関東学院大学金沢八景キャンパス12号館で保育を行います。各地域の協力なしにはできないので、横浜・横須賀・平塚・三浦・川崎の指導員が2日間で延べ60人ほど集まり、オールかながわで頑張ります！子どもたちも様々な地域からすでに1日100名を超える申込みがあるそうです。

子どもも指導員もいっぱい遊んで、楽しい2日間を過ごせるように、今から色々と準備をしています。

### 歓迎行事担当

いよいよ間近に迫ってきた全国研。歓迎行事には県内多数のクラブの子ども達に協力していただき、全国の皆さんを子ども達の元気と共に歓迎します。

13年前にも子ども達と唄った「RINGS」、けん玉、縄とびやダブルダッチ、そしてトリは和太鼓で神奈川の元気を伝えます。

### 道案内担当

1日目（全体会）は、関内駅から横浜文化体育館までと、全体会終了後に交流会会場までの道案内をします。（若干名協力者を募集中です！）

2日目は金沢八景駅から関東学院大学までご案内します。間違えずに「金沢八景駅」で下車してくださいね。

県内から、そして全国から参加してくださる皆さんを笑顔でお迎えします♥  
青いTシャツが目印です。

### 参加証(お土産)づくり担当

夏休みに各地域の学童保育で子どもたちが一生懸命に取り組みました。

大根など地域の名産や、行事に因んだ取り組みなど工夫を凝らしています。

誰のところに行くのかな？作りながら子どもたちも楽しみにしていました。お手紙が付いているものもありますので、ぜひお返事を出してください。



### 速報担当



速報紙のタイトルは【おかえりあかいくつ】。13年ぶりに神奈川に全国研が帰ってきことと、放課後、子どもを学童で迎えるときにかける言葉をかけました。それと前回の速報タイトルが「あかいくつ」だったので、そのようになりました。

紙面掲載内容もきまり、あとはお願いしている原稿が届くのを待つばかり。もらってよかったと思える紙面になるよう速報班一同がんばります。

## 活動報告(8月～9月の主な活動報告)

8月2日(日)	県連協8月度運営委員会	9月1日～2日	9月全国運営委員会
8月10日(金)	厚労省との懇談会(全国連協)	9月6日(木)	県連協9月運営委員会
8月16日(木)	53全国研 in 神奈川実行委員会	9月9日(日)	53全国研 in 神奈川実行委員会総会
8月19日(日)	全国「日本の学童ほいく」推進会議	〃	県連協拡大運営委員会
*7月～8月にかけて県内各市町村キャラバンを実施		9月29日(土)	神奈川県の学童保育を支える議員連盟との意見交換会

## ♪ 地域連協だより ♪

### 南足柄市連協だより

箱根外輪山に面し金太郎のふるさととしても知られる南足柄市は、豊かな自然に恵まれ、こどもたちものびのびと成長しています。

南足柄市の学童保育は、40年前に一人の保護者によって設立されました。現在は市内6つの学童保育所が、保護者会と、保護者が主体となって設立したNPO法人とで運営されています。そして南足柄市連協は、保護者会と市とのパイプ役としての役割を担う他、毎年、クリーンウォークや防災イベントなどを主催してきました。

南足柄市連協は人数も少なく微力ではありますが、今年度の「全国研 in かながわ」では教室係、弁当配布係、救護係として協力させていただきます。また、全国研に参加された方に参加証として配布するオリジナルストラップを、全学童児が総出で700個作製しました。金太郎をモチーフに、デザインや素材を各学童で工夫したオリジナリティあるストラップですので、きっと皆さんに喜んでいただけたと思います。

次号の「地域連協だより」は綾瀬市連協が担当です。

お楽しみに！



神奈川県学童保育連絡協議会HP  
(<http://kanaken.onushi.com/>)



## <これからの主な予定>

- 10月19日(金) 全国学童保育連絡協議会総会 (横浜市従会館)
- 10月20日(土) 第53回全国学童保育研究集会 in 神奈川 全体会 (横浜文化体育館)
- 10月21日(日) 同 分科会 (関東学院大学)
- 1月6日(日) 県連協「日本の学童ほいく」普及推進会議 (横浜市健康福祉センター・AM)
- 1月6日(日) 県連協「新春会長会議」(横浜市健康福祉センター・PM)
- 2月24日(日) 第41回神奈川県学童保育研究集会 (横浜市神奈川公会堂)

\*その他、運営委員会は毎月第1木曜日、役員会は運営委員会のある週の月曜日に開催しています。また、全国研実行委員会を第3木曜日の開催です。